

横井也有と在所 藤ヶ瀬

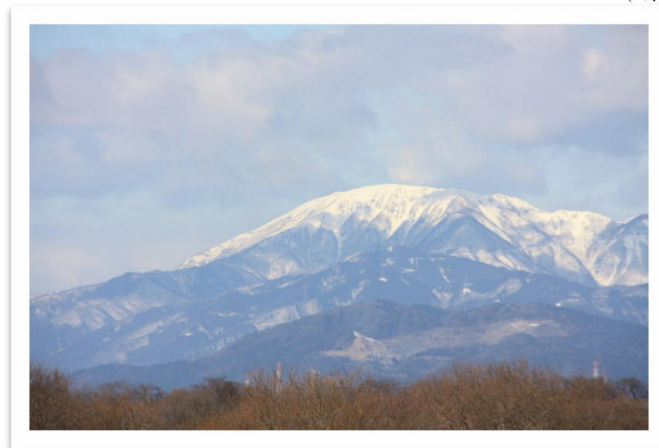
藤ヶ瀬横井家の在所であった海西郡藤ヶ瀬村は、現在の愛西市藤ヶ瀬町のことです。現在とは違い、当時は、西に木曽川、東に佐屋川という大河に挟まれた村落でした。木曽川支配の要衝でもあったようで、川支配を司る北方代官（現在の一宮市）の番所の藤ヶ瀬番所があり、運材や渡船等の監視が行われていました。

藤ヶ瀬村はまた、立田輪中の北部に位置し、東北西三方を堤で囲われていました。この藤ヶ瀬村に、藤ヶ瀬横井家の屋敷があり、也有も度々訪れており、藤ヶ瀬周辺の風景を「藤ヶ瀬八景」として詠んでいます。也有は職務上、藩要職の随行や職務の合間に名所旧跡を訪れることも多くありましたが、普段は気づかない身近な自然の中にも、心に残る景色はあるのです。



伊吹暮雪

夕あらし 雲はさたかに 吹分けて それといふきに 晴るゝ白雪
(藤ヶ瀬八景より)



伊吹山

卯の花に とめはや雪の 梢迄
植残せ その田はかけの 伊吹山

野有
野有

也有には、様々な号がありました。本名が時般なので、也有自体も号の一つですが、他に、野又、野有、暮水、蘿隠、紫紅、半掃庵、知雨亭など、場面によって使い分けていました。